

環境を美しく健やかに
私たちは環境美化創造企業です

第62期
ZAOH LETTER

証券コード: 9986

2017.4.1 ▶ 2018.3.31

私たち蔵王産業は、
クリーンな労働環境や生活環境づくりに積極的に関わり、
高品質な環境クリーニング機器を提案、提供する企業です。

● 売上高

7,200 百万円

前 期 比

3.7 % 増



● 経常利益

1,196 百万円

前 期 比

7.3 % 増



● 自己資本比率

85.7 %

前 期 比

0.8ポイント増



● 1株あたり純資産

1,827.31 円

前 期 比

68.12円増



● 配当金

61 円

前 期 比

6円増



● 配当性向

48.8 %

前 期 比

3.6ポイント増



市場全体の好景気を受けて
主力商品の販売が順調
新商品の積極投入でさらなる成長へ



代表取締役社長 北林 恵一



2018年3月期の業績はいかがでしたか？



当期における国内経済は好調な企業収益を背景に雇用情勢等が改善し、景気は緩やかな回復傾向にありました。

2018年3月期は、2020年の東京オリンピック開催を控えてゼネコン関係のほか、当社グループの主要顧客である製造業、ビルメンテナンス業界も好景気であったことから期初の計画を上回る業績を残すことができました。製造業におきましては、主力商品である環境負荷低減への対策商品として強アルカリイオン電解水生成機「ZKシリーズ」の需要が年々高まり、その相乗効果として床洗浄機や高圧洗浄機等の販売が増加いたしました。ビルメンテナンス業界におきましては、全国各地で開催した展示会や代理店のユーザー向け講習会等を通じ、「ZKシリーズ」や各種振動式洗浄機等を利用した新たなメンテナンス方法の提案を積極的に行った結果、関連商品の販売は堅調に推移いたしました。さらに、OEM供給した衣類スチーマー、真空掃除機等のアイテムにつきましては、インターネット、ホームセンター等で販路拡大に努めてまいりました。なお、子会社のエタニ産業（株）におきましては、プール向けの水質浄化剤など、化成品関連商品の売上が堅調でした。

これらの結果、2018年3月期における当社グループの業績は、売上高7,200百万円（前期比3.7%増）、営業利益1,173百万円（同9.2%増）、経常利益1,196百万円（同7.3%増）、親会社株主に帰属する当期純利益783百万円（同2.9%増）となりました。この要因としては、新商品の優位性に加えて、前期から引き続き全国の主力販売代理店との関係強化に努め、営業基盤の底上げが図れたことが大きいと考えております。



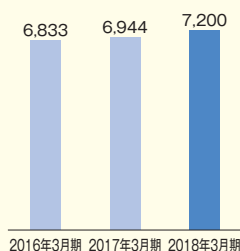
主力商品の市場での評価はいかがでしょう？



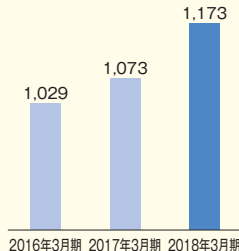
強アルカリイオン電解水生成機「ZKシリーズ」につきましては、2017年8月より1回のセットで最大10時間連続生成が可能な「ZKリミテッド」を販売いたしました。連続生成が可能となったことから大量に使用する現場でこれまで十分にアプローチできていなかった製造業にも数多く納入することができました。また、均一な仕上がりを実現するカーペット洗浄機・高速振動ポリリッシャー「バルチャーオービタル」、従来手作業で汚れを落していた狭い場所を洗浄できる超小型振動ポリリッシャー「ナノエッジ」が引き続き鉄道関係等で販売が好調でした。2017年9月に発売を開始した2種類のブラシが高速回転してゴミ・ホコリを効率よく回収するリチウムイオンバッテリー式バキューム

● 財務ハイライト(連結) (単位:百万円)

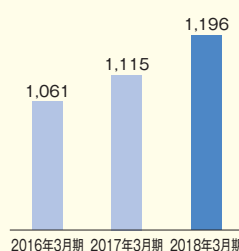
● 売上高



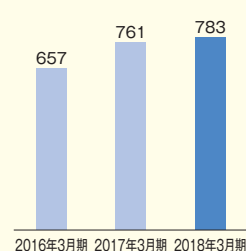
● 営業利益



● 経常利益



● 親会社株主に帰属する当期純利益



スィーパー「ツインフォース LS38Li」が、ハードフロアでもカーペットフロアでも操作性に優れている点が支持されて、増収に貢献しました。



商品開発はどのように進めているのでしょうか？



当社は業界のリーディングカンパニーとして常に付加価値の高い新商品を開発し、市場に投入しています。いわゆるファブレス（工場を持たない）カンパニーで、取扱商品の約70%は輸入品です。ただ、単に商品を輸入して販売しているわけではありません。海外とは電圧も異なり、日本では使用される現場も様々で機器の耐久性も変わります。従って、イタリアや米国をはじめ世界数カ国のメーカーと取引がありますが、電圧・耐久性等の試験を実施するほか、顧客現場から得たニーズをメーカーにフィードバックし、細部まで要求の厳しい日本市場向けに商品をブラッシュアップし、当社独自のオリジナリティを付加した上で市場に投入しています。



御社の強みである提案力の源泉は何でしょうか？



当社は、お客様の現場に商品を持ち込み提案営業しているのが大きな特徴です。従って、当社の営業員は様々な現場の状況を詳しく把握しています。経験を積んだ営業員がユーザーの現場を訪問することで、課題を解決する最善の商品提案が可能です。当社の強みである提案力の源泉は、現場での実演にあります。商品を提案するなかで、現場のニーズを収集することができるため、新商品開発にもつながっています。また、全国21カ所に営業拠点を置いており、新商品発表後タイムリーに販売代理店にアプローチして商品説明会を開くことができます。さらに定期点検のほか、修理等アフターサービス体制も整備していることから当社が総合的に評価されることにつながっていると考えております。



2019年3月期の事業方針をお聞かせください。



これまで幅広いユーザーに向けて清掃・洗浄機器を販売してまいりましたが、「ZKシリーズ」のように、これらの機器の枠にとられない商品も販売していきたいと考えております。また、人材の確保に努めるとともに、当社グループの次代を担う若手の人材を積極的に登用して、新陳代謝を図ってまいります。また、当社の主力商品のなかで、30年ほど前から販売し、多くのユーザーに認知されている「アルマジロ」という搭乗式大型動力清掃機がありますが、これまでは構内での作業を前提に足下の状況が確認しやすい右ハンドル仕様のみでした。近年は公道での使用が増えていることから、今期より左ハンドル仕様の機種を投入いたしました。このほか、搭乗式床洗浄機では機能性の向上は当然として、バックモニターを搭載し後方視界を確認できる安全性を追求した商品も順次投入してまいります。今期もこのような新商品を積極的に投入し、業績の向上に努めてまいります。



最後に株主の皆様へメッセージをお願いします。



国内における環境クリーニング機器業界はニッチ市場ながら、当社グループは付加価値の高い新商品を積極的に投入して、安定した経営に取り組んでまいりました。環境関連ビジネスは今後ニーズが高度化するものと考えられ、当社グループは商品提供によるお客様の問題解決を通して社会に貢献してまいります。また、株主様への利益還元は重要な経営課題の一つと位置づけており、安定した配当を継続してまいります。株主の皆様におかれましては何とぞご理解いただき、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

清掃機器部門

売上高

1,348 百万円

前期比11.2%増

主要
商品

動力清掃機、真空掃除機、
カーペット清掃機、泥層・
氷層除去機

当期は、主にレンタル会社向けの搭乗式大型清掃機や新商品である「ツインフォース LS38Li」が堅調に推移したこと等から増収となりました。

●搭乗式大型動力清掃機 「AM9D-Ⅲ」

安全な全油圧駆動方式を採用し、ゴルフ場、大型テーマパーク、建設現場等、広大な敷地において、圧倒的な清掃能力を発揮します。



●リチウムイオンバッテリー式シーバー 「ツインフォース LS38Li」

ソフトとハード2種類のブラシが2,000rpmで高速回転することで粗ゴミから細かなホコリまで効率よく回収します。



洗浄機器部門

売上高

3,283 百万円

前期比6.2%増

主要
商品

自動床洗浄機、カーペット
洗浄機、カーペット濯ぎ洗
い機、高圧洗浄機、スチー
ム洗浄機、振動式洗浄機

当期は、ビルメンテナンス業者向けに「ナノエッジ」等を活用した関連商品である洗浄機器等の販売が堅調に推移するとともに、コンシューマー向けの新商品である衣類スチーマーの販売が伸長したこと等から増収となりました。

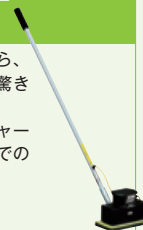
●高温水高圧洗浄機 「ジェットマンPWH2017」

様々な現場用途に合わせ、常温水、高温水、スチームと3モードによる洗浄が可能であり、ステンレススチールコイルを採用したことで、食品工場等でも安全に使用できる仕様になっています。



●超小型振動ポリッシャー 「ナノエッジ」

軽量コンパクトでありながら、超高速回転により短時間で驚きの洗浄効果を発揮します。従来の床洗浄機やポリッシャーでは作業しにくい狭い場所での洗浄が可能となりました。



その他部門

売上高

2,568 百万円

前期比2.7%減

主要
商品

強アルカリイオン電解水生成機、部品及びメンテナンスサービス、清掃・洗浄機用消耗品及びアクセサリ、水質浄化剤、電磁サーバー、その他

当期は、子会社であるエタニ産業株式会社の売上が増収となりましたが修理工賃・パーツ等の売上が減少したため、全体では減収となりました。

●強アルカリイオン電解水生成機 「ZKリミテッド」

好評を得ている強アルカリイオン水生成機「ZKシリーズ」のモデルチェンジ版。従来機と同様、pH13.1の濃縮イオンを生成できることに加えて、1回で最大で10時間の連続生成が可能となりました。ビルメンテナンス業者だけでなく、製造業等の分野での利用も年々広がっています。



●ブルー洗浄剤 「アクアビル」

陽イオン高分子凝集剤が水中の微粒子を凝集することで清掃フィルターにかかりやすい状態にし、水の透明度を高めます。



① 流動資産

主として現金及び預金が1,328百万円減少したものの、有価証券が1,799百万円増加したこと等により前連結会計年度末に比べて6.2%増加し、8,265百万円となりました。

② 固定資産

主として建物及び構築物が69百万円減少したこと等により前連結会計年度末に比べて2.1%減少し、5,086百万円となりました。

③ 固定負債

主として役員退職慰労引当金が109百万円減少したこと等により前連結会計年度末に比べて6.9%減少し、930百万円となりました。

④ 純資産合計

主として利益剰余金が438百万円増加したこと等により前連結会計年度末に比べて3.9%増加し、11,447百万円となりました。

CHECK!

平成30年3月期連結決算の詳細は
当社HP《IR情報》に掲載しています。

<https://www.zaohnet.co.jp/ir/>

● 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	第62期 (平成30年3月31日現在)	第61期 (平成29年3月31日現在)
(資産の部)		
① 流動資産	8,265	7,783
現金及び預金	2,413	3,742
受取手形及び売掛金	1,892	1,903
有価証券	2,999	1,199
商品	851	807
繰延税金資産	87	83
その他	20	47
貸倒引当金	△0	△0
② 固定資産	5,086	5,198
有形固定資産	4,708	4,789
建物及び構築物	1,476	1,545
機械装置及び運搬具	8	14
土地	3,199	3,199
その他	23	29
無形固定資産	17	20
投資その他の資産	360	388
投資有価証券	128	128
繰延税金資産	168	199
その他	63	61
貸倒引当金	△0	△0
資産合計	13,352	12,982
(負債の部)		
流動負債	973	962
支払手形及び買掛金	237	223
未払金	137	95
未払法人税等	199	267
賞与引当金	104	104
商品保証引当金	7	9
その他	286	262
③ 固定負債	930	999
退職給付に係る負債	541	510
役員退職慰労引当金	139	248
再評価に係る繰延税金負債	172	172
その他	77	67
負債合計	1,904	1,961
(純資産の部)		
株主資本	13,629	13,190
資本金	2,077	2,077
資本剰余金	2,402	2,402
利益剰余金	9,150	8,711
自己株式	△1	△1
その他の包括利益累計額	△2,181	△2,169
繰延ヘッジ損益	△7	5
土地再評価差額金	△2,174	△2,174
④ 純資産合計	11,447	11,020
負債純資産合計	13,352	12,982

● 連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	第62期 (平成29年4月1日～ 平成30年3月31日)	第61期 (平成28年4月1日～ 平成29年3月31日)
売上高	7,200	6,944 ⑤
売上原価	3,456	3,346
売上総利益	3,744	3,598
販売費及び一般管理費	2,571	2,524
営業利益	1,173	1,073
営業外収益	25	43
営業外費用	2	1
経常利益	1,196	1,115
税金等調整前当期純利益	1,196	1,115
法人税、住民税及び事業税	381	412
法人税等調整額	31	△57
当期純利益	783	761
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	783	761

● 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	第62期 (平成29年4月1日～ 平成30年3月31日)	第61期 (平成28年4月1日～ 平成29年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	822	931 ⑥
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2	△451 ⑦
財務活動によるキャッシュ・フロー	△348	△370 ⑧
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	471	108
現金及び現金同等物の期首残高	4,942	4,833
現金及び現金同等物の期末残高	5,413	4,942

⑤ 売上高

主にレンタル会社向けに搭乗式大型清掃機「アルマジロ」の販売が好調だったことに加え、コンシューマー向けのOEM商品である衣類スチーマーの販売も堅調に推移したこと等により、前期比3.7%増となりました。

⑥ 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は822百万円（前期比108百万円減少）となりました。収入の主な要因は、税金等調整前当期純利益が1,196百万円、減価償却費が87百万円であり、支出の主な要因は、役員退職慰労引当金の減少額が109百万円、たな卸資産の増加額が44百万円あったこと等によるものであります。

⑦ 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、2百万円（前期比448百万円減少）となりました。収入の主な要因は、有形固定資産の売却による収入が4百万円、従業員に対する貸付の回収による収入が4百万円であり、支出の主な要因は、有形固定資産の取得による支出が4百万円、従業員に対する貸付による支出が4百万円あったこと等によるものであります。

⑧ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、348百万円（前期比22百万円減少）となりました。支出の主な要因は、配当金の支払額が344百万円あったこと等によるものであります。

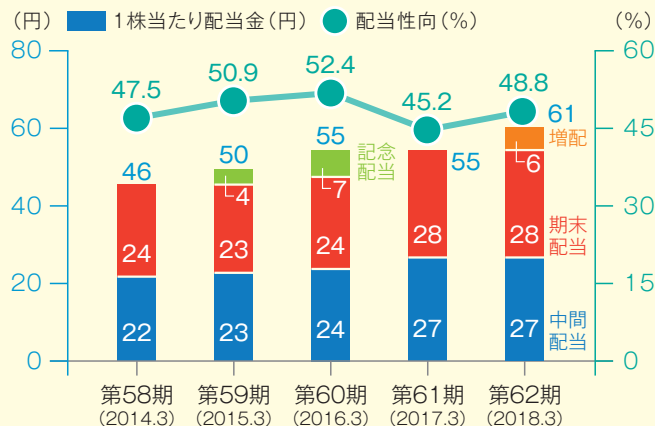
株主還元方針

当社は、株主の皆様への利益配分と会社の体質強化のための内部留保との調和を図りながら、配当につきましては配当性向重視の方針を維持してまいります。

配当金額の決定につきましては、株主の皆様様に長期的な観点で当社株式を保有していただくため、当社グループの事業展開や財務状況のほか会計基準の変更等特殊要因による業績変動等を総合的に勘案し、今後、毎期の業績に応じて配当性向50%程度を目標としてまいります。

なお、当期の1株当たり期末配当金につきましては、期初発表の利益予想を上回りましたことから6円増配の34円とし、中間配当27円に加え年間配当は61円といたしました。

1株当たり配当金と配当性向



● 会社の概況 (平成30年6月27日現在)

社 名 蔵王産業株式会社
本 社 東京都江東区毛利一丁目19番5号
 TEL 03-5600-0311

資 本 金 20億7,776万円

役 員 代表取締役社長 北林恵一
 取締役副社長 沓澤孝則
 取 締 役 竹村 洋
 取 締 役 御幡純平
 取 締 役 金子勝介
 常 勤 監 査 役 田口 稔
 監 査 役 牛村 敦
 監 査 役 川添利賢

営業品目 動力清掃機、カーペット清掃機、泥層・氷層除去機、真空掃除機、自動床洗浄機、カーペット洗浄機、カーペット濯ぎ洗い機、高圧洗浄機、スチーム洗浄機、振動式洗浄機、部品及びメンテナンスサービス、清掃・洗浄機用消耗品及びアクセサリー、その他

営 業 所 札幌営業所 仙台営業所 宇都宮営業所
 水戸営業所 船橋営業所 川越営業所
 東京営業所 横浜営業所 長野営業所
 新潟営業所 静岡営業所 金沢営業所
 名古屋営業所 京都営業所 大阪営業所
 神戸営業所 岡山営業所 広島営業所
 高松営業所 福岡営業所 鹿児島営業所
 配送センター及び試験研究室

グループ会社 エタニ産業株式会社 東京都目黒区
<http://www.etanisan.co.jp>

● 株式の状況 (平成30年3月31日現在)

発行可能株式総数 22,000,000株
 発行済株式総数 6,266,000株
 自己株式数 1,326株

● 株主の状況

総株主数 4,870名

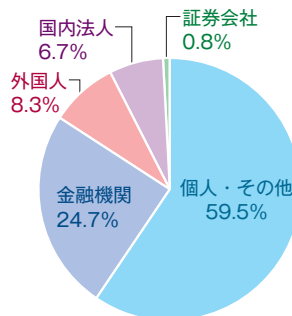
● 大株主の株式所有状況

(単位：株)		
	持株数	持株比率
佐々木 健二	832,830	13.29%
日本マスタートラスト信託銀行(信託口)	355,000	5.67%
ノルディア デンマーク フィリアル エーエフ ノルディア バンク エービー スウェーデン クライアント	291,900	4.66%
(株)三井住友銀行	276,000	4.41%
(株)みずほ銀行	230,000	3.67%
(株)千葉銀行	230,000	3.67%
蔵王産業社員持株会	208,080	3.32%
東京美装興業(株)	158,400	2.53%
土方孝悦	154,900	2.47%
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	147,400	2.35%
合 計	2,884,510	46.06%

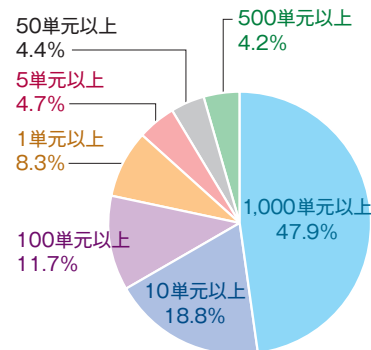
(注) 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

● 株式分布状況

所有者別株式数構成比



所有株数別株主数構成比



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	TEL：0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。

● 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

● 未払配当金について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

● 「配当金計算書」について

配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当金支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいておりますので、確定申告をなされる株主様は大切に保管ください。

● 特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。



蔵王産業株式会社

〒135-0001 東京都江東区毛利1-19-5 TEL:03-5600-0311 FAX:03-5600-0516